

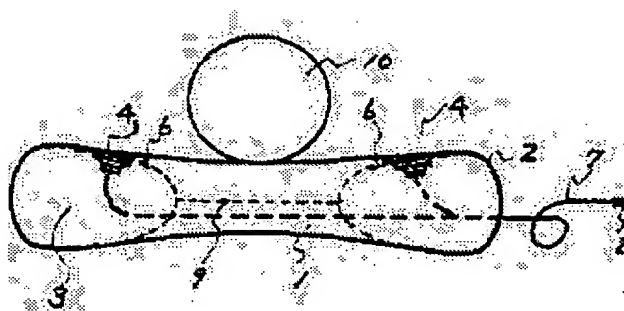
HEALTH PILLOW CONTAINING SPEAKER SYSTEM

Patent number: JP2002125825
Publication date: 2002-05-08
Inventor: SAKAIYA SADAOK
Applicant: SAKAIYA SADAOK
Classification:
- international: A47G9/10
- european:
Application number: JP20000367809 20001026
Priority number(s): JP20000367809 20001026

Report a data error here

Abstract of JP2002125825

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a health pillow that contains a stereo speaker system with good interchangeability with various audio equipment, which enables listening to music and other audio sources in a relaxed position laying down, improves the quality of the sound with simple structure, and has good effect on health. **SOLUTION:** This pillow contains a stereo speaker unit inside its body. A speaker system is installed under a mesh sheet on the back side of the surface covering material and is equipped with output cord and terminal for connecting this speaker unit to the headphone input of the exterior audio equipment. The speaker unit is contained inside a cabinet in order to secure cavity behind the speaker unit. The pillow uses for its stuffing powdered or pieces of wood, or a combination of both, that contains antibacterial and sterilizing components.



Data supplied from the esp@cenet database - Worldwid

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2002-125825

(P2002-125825A)

(43) 公開日 平成14年5月8日 (2002.5.8)

(51) Int.Cl.⁷

A 4 7 G 9/10

識別記号

F I

A 4 7 G 9/10

テーマコード(参考)

U 3 B 1 0 2

審査請求 未請求 請求項の数3 書面 (全 3 頁)

(21) 出願番号 特願2000-367809(P2000-367809)

(22) 出願日 平成12年10月26日 (2000.10.26)

(71) 出願人 594042848

境谷 定雄

青森県五所川原市字錦町1番地

(72) 発明者 境谷 定雄

青森県五所川原市字錦町1番地

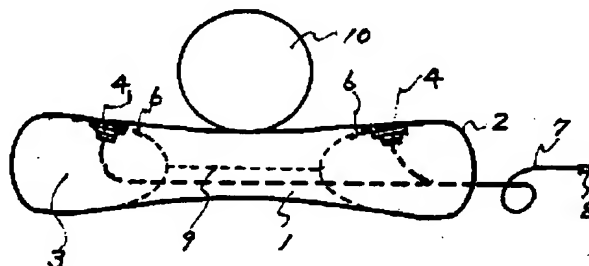
Fターム(参考) 3B102 AA09 AB09 AC01

(54) 【発明の名称】 スピーカー装置内蔵健康枕

(57) 【要約】

【課題】 テレビ、ラジオやカセットテープ、CD、MDプレーヤー等の音声を寝ながら聴く枕で、ステレオスピーカーを備え、且つテレビ、ラジオは勿論各種音響機器の音声を聴取者の耳元で小音量でも聴かせることができ、しかも枕の中から薬効成分を放散し、人が横になった状態で良好な音質の音声中で聴くことができ、その相乗効果で心身に癒しと寛ぎを与えてくれる様な枕が無かった。

【解決手段】 上記課題を解決するため、本枕のステレオスピーカーユニットと表面被覆材との間に充填する詰め物は存在せず、スピーカーをキャビネットの中に收容することによって裏側にキャビティを確保できるので良質な音声中で聴ける。又枕の充填材には自然の恵が多めで薬効成分が含有される木材粉か木材片を使用し、スピーカーユニットは表面被覆材に安定させるためキャビネットと共にメッシュシートに固定してセットをする。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 本体の中にステレオスピーカーユニットを内蔵する枕であって、枕上面部で略両端部の表面被覆材の地裏側に、間にメッシュシートを介してスピーカーユニットをに取り付け、このスピーカーユニットと外部音響機器のヘッドホンジャックに接続するための出力コードと接続端子を備えていることを特徴とするスピーカー装置内蔵枕。

【請求項2】 スピーカーユニットの裏側にキャビティを確保するために、これをキャビネットの中に収容したことを特徴とする請求項1記載の枕。

【請求項3】 枕の充填材として、抗菌、殺菌性等薬効成分のある木材の木材粉或いは木材片を単独又は混合物として充填したことを特徴とする請求項1記載の健康枕。

【発明の詳細な説明】**【0001】**

【産業上の利用分野】 この発明はテレビ、ラジオやカセットテープ、CD、MDプレーヤー等の音声を寝ながら聴ける枕であって、ステレオスピーカーを備え、且つテレビ、ラジオは勿論各種音響機器等の音声を聴取者の耳元で小さい音量で聞かせることができ、充填材からの薬効成分の放散効果も合わせた健康枕に関する。

【0002】

【従来の技術】 従来の枕は、内部に充填材として褥殻やスポンジ等を封入した物や弾性素材と磁石とを併用した物等が一般的であり、スピーカーを内蔵する枕もあったが音質は良好とは言えず、通常音楽を聴く場合にはイヤホンやヘッドホンを耳に装着するか、音響機器の音量を大きくしていた。

【0003】

【解決しようとする課題】 上記従来の場合はその都度イヤホン或いはヘッドホンを装着せねばならず繁雑であり、位置がずれたり姿勢が限定される等の問題点があったりし、又音響機器の音量を大きくすれば側にいる他者に迷惑を掛けることもあったりした。更に従来の同様枕は充填材の中にスピーカーが存在するので音質の低下もみられた。

【0004】 この発明は、上記したような不都合を解消するためになされたもので、横になりながら楽な姿勢で音楽等を聴くことができ、簡単な構成で音質を向上させて、健康的にも優れた効果があり、各種音響機器との互換性にも優れたステレオスピーカー装置内蔵の健康枕を提供することを目的とする。

【0005】

【課題を解決するための手段】 上記の目的を達成するため本発明は、スピーカーユニットは枕上面部で略両端部の枕表面被覆材の地裏側に、メッシュシートを介して取り付ける。

【0006】 ステレオスピーカーユニットは均一な周

波数特性の音質を得ることを目的に、ユニットの裏面側にキャビティを確保するためキャビネットの中に収容し、メッシュシートに固定して枕の中で安定させる。

【0007】 枕の充填材にはヒノキチオール等薬効成分が含有されるヒバ、桧、屋久杉、榎、楠木、ユウカリ等の木材粉或いは木材片を単独か混合して使う。

【0008】 スピーカーユニットと各種音響機器との接続には、音響機器共通のヘッドホンジャックに合った接続端子と、出力コードを取り付け接続する。

【0009】

【発明の実施の形態】 以下、この実施の形態を図に基づいて説明する。

【0010】 1は本枕の本体であり、この表面被覆材2の中にステレオスピーカーユニット4を内蔵する。

【0011】 2は枕の表面被覆材で、材質は通気性であれば布、竹、ゴザ、プラスチック等色々選べる。

【0012】 3は枕の充填材で、健康志向の場合は薬効成分の含有する木材粉や木材片等を封入する。

【0013】 4はステレオスピーカーユニットで、音響機器で出力された音声を立体感良く発する。

【0014】 5はキャビネットで、スピーカーユニット4を中に収容し、裏面側にキャビティを確保して音質を高める。

【0015】 6はプラスチックのメッシュシートで、スピーカーユニット4とキャビネット5を一体としてこのシート6に固定させ、更にこれを表面被覆材2にも固定をすることにより、枕1の中で全体がより安定をし、枕の表面被覆材2の変形にも柔軟に追従する。

【0016】 7は出力コードで、本枕のステレオスピーカーユニット4と外部の音響機器とを接続させ音声出力を伝える。

【0017】 8は接続端子で、外部の音響機器のヘッドホンジャックに差し込み、出力コード7を通して音声出力を伝える。

【0018】 本発明は従来のスピーカーを組み込んだ枕に比べて、詰め物に音波を遮られることも無いので音声は減衰することなく耳に到達し、小音量でも音質良く聴ける利点があり、柔軟性のメッシュシートを介在させることにより、この枕を使用する場合に枕の中に内容する機器の違和感も少ない。

【0019】 9は枕の略中心を縫着するもので、スピーカーユニットの方向を内側に向け音声の方向をより耳に近付け、枕自体の使用感も向上させる。

【0020】

【発明の効果】 以上のように本発明によれば、スピーカーユニット自体と表面被覆材との間に充填している詰め物が存在しないので音声の減衰も無く、キャビティの存在効果もあり小音量でも耳には十分な音声を音質よく聴かせることができ、その音声は左右に独立したステレオ音声であるので立体感が顕著であり、又外部の各種音

響機器との接続は、接続端子をそれぞれのジャックに差し替えるだけで交換できる。更に枕の中に充填される木材による薬効成分の放散効果で心身に癒しと寛を与える。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明枕の実施例の背面図であり正面図は対称に現れる。

【図2】 本発明枕の実施例の斜視図である。

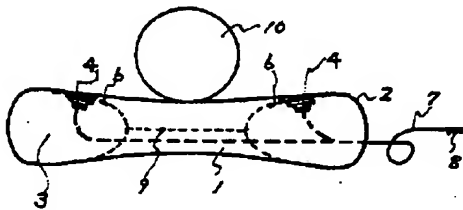
【図3】 本発明枕のメッシュシートとスピーカーキャビネットを示す斜視図である。

【図4】 本発明枕のスピーカーユニットとキャビネットとメッシュシートを表す断面図である。

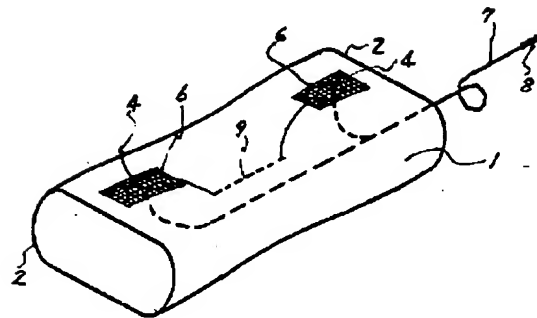
【符号の説明】

- 1 枕本体
- 2 枕の表面被覆材
- 3 枕の充填材
- 4 ステレオスピーカーユニット
- 5 キャビネット
- 6 メッシュシート
- 7 出力コード
- 8 接続端子
- 9 縫着加工
- 10 頭

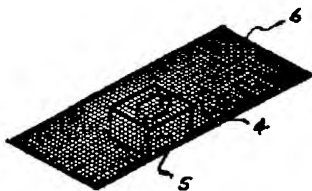
【図1】



【図2】



【図3】



【図4】

